

3 特別展・企画展

(1) 一宮市博物館

企画展 近代の洋装と毛織物 文明開化のコスチューム

会期 平成 25 年 4 月 27 日（土）～ 6 月 2 日（日）

展示替え 5 月 13 日（月）

主催 一宮市博物館

会場 特別展示室、展示室 4、ラウンジ、1 階ギャラリー

印刷物 ポスター (B2) 800 枚
リーフレット (A4) 20,000 枚
展示解説書 (A4、12 頁) 4,000 部 無料配布
観覧券 6,200 枚

観覧料 常設観覧料

開催日数 32 日間

入館者数 2,023 人（63.2 人／1 日）

平成 22 年度に一宮市が購入した墨コレクションは、毛織物コレクションとしては日本有数のものである。その約 530 点にも上るコレクションを紹介する展覧会として 3 回目となる今回は、日本における服装の洋装化の歴史に触れながら、近代の大礼服や軍服を展示した。

展示構成

- ①服制の洋装化
- ②女性の宮中礼服
- ③陸軍の軍服
- ④海軍の軍服
- ⑤日本の毛織物史と艶金興業

企画展
近代の洋装と毛織物
文明開化のコスチューム
平成25年4月27日[土]～6月2日[日]

観覧料(常設展を含む)
一般200円(180円) 高校・大学生100円(80円) 小・中学生60円(40円)
※小・中学生は10人以上で来館の場合は団体料金となります。
※小・中学生は10人以上で来館の場合は団体料金となります。
※小・中学生は10人以上で来館の場合は団体料金となります。

観覧券
大人 6,200円
小・中学生 3,100円
幼児 1,550円
※観覧券は、本館で販売しております。
※観覧券は、本館で販売しております。
※観覧券は、本館で販売しております。

一宮市博物館

出品目録

No.	資料名	時代	所蔵
1	勅任官大礼服	明治～昭和初期	一宮市博物館
2	勅任官大礼服 岡元卿着用	明治	一宮市博物館
3	宮内官大礼服（勅任） 岡元卿着用	明治～大正	一宮市博物館
4	非役有位大礼服（四位以上） 土岐政夫着用	昭和初期	一宮市博物館
5	非役有位大礼服（五位以下） 大倉喜八郎着用	明治～大正	一宮市博物館
6	有爵者大礼服（男爵） 大倉喜八郎着用	大正	一宮市博物館
7	有爵者大礼服（男爵） 大倉喜八郎着用	大正	一宮市博物館
8	有爵者大礼服（男爵） 大倉喜八郎着用	大正	一宮市博物館
9	有爵者大礼服（伯爵） 橋本実斐着用	大正	一宮市博物館
10	小礼服（燕尾服） 岡元卿着用	明治～大正	一宮市博物館
11	小礼服（燕尾服） 宇佐見毅着用	昭和初期	一宮市博物館
12	フロックコート	大正～昭和初期	一宮市博物館
13	桂袴 公爵夫人宮中儀礼用	明治～昭和初期	一宮市博物館
14	陸軍将校正装（大佐） 西尾寿造着用	昭和初期	一宮市博物館
15	陸軍将校正装（主計中将） 石川半三郎着用	昭和初期	一宮市博物館
16	陸軍下士兵卒正装（騎兵）	昭和初期	一宮市博物館
17	陸軍将校正装（砲兵少佐）	大正～昭和初期	一宮市博物館
18	陸軍軍装（夏服） 石川半三郎着用	昭和初期	一宮市博物館
19	陸軍軍装（冬服） 石川半三郎着用	昭和初期	一宮市博物館
20	陸軍外套・長靴 石川半三郎着用	昭和初期	一宮市博物館
21	海軍正装（少将） 寺田祐次着用	昭和初期	一宮市博物館
22	海軍通常礼装（少将） 寺田祐次着用	昭和初期	一宮市博物館
23	海軍第一種軍装 末次信正着用	昭和初期	一宮市博物館
24	行幸啓扈從文官服（勅任官）	昭和初期	一宮市博物館
25	盾の会制服（夏服）	昭和43年（1968）頃	一宮市博物館
26	盾の会制服（冬服）	昭和43年（1968）頃	一宮市博物館
27	裁判官法衣	明治～昭和初期	一宮市博物館
28	郵便外務員制服（上衣・外套）	大正	一宮市博物館
29	吉田初三郎「尾羊展開 艶金興業五工場鳥瞰図」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
30	吉田初三郎「艶金興業 本社及起工場鳥瞰図」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
31	吉田初三郎「艶金興業 一宮工場鳥瞰図」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
32	吉田初三郎「艶金興業 佐千原工場鳥瞰図」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
33	吉田初三郎「艶金興業 津島工場鳥瞰図」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
34	杉山元輝「昭和天皇来社（艶金本社）」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵
35	杉山元輝「昭和皇太子来社（艶金本社）」		一宮市尾西歴史民俗資料館蔵

企画展 阿弥陀信仰と木曾川流域

会期	平成 25 年 6 月 15 日（土）～ 7 月 28 日（日）		
主催	一宮市博物館		
会場	特別展示室、展示室 4、ラウンジ、1 階ギャラリー		
印刷物	ポスター（B2）	800 枚	
	リーフレット（A4）	20,000 枚	
	展示解説書（A4、16 頁）	4,000 部	無料配布
	観覧券	6,200 枚	
観覧料	常設観覧料		
開催日数	38 日間		
入館者数	2,562 人（67.4 人／1 日）		

平安時代末は、末法思想に加え、天災・疫病の蔓延あるいは政権争いが続いた混沌とした時代であったが、そのような中で人々が見出した希望の光が、来世において極楽浄土へ往生するという浄土教の教えであった。本展では、木曾川流域に広がった阿弥陀信仰について、中世から近世までの流れを紹介した。

展示構成

- ①阿弥陀信仰のひろがり
- ②中世仏教の阿弥陀信仰
- ③浄土真宗の阿弥陀信仰
- ④近世の阿弥陀信仰

出品目録

◎重要文化財、○市町村指定文化財

No.	資料名	数量	時代	所蔵
1	尾濃葉栗見聞集二（市史資料）	1 冊	昭和	一宮市立中央図書館
2	尾張名所図会後編巻五	1 冊	明治	一宮市博物館
3	木曾川古図（市史資料）	1 枚	昭和	一宮市立中央図書館
4	往古木曾川流脈之図写（市史資料）	1 枚	昭和	一宮市立中央図書館
5	善光寺式阿弥陀三尊像	3 軀	不詳	
6	信州座光寺元善光寺縁起	1 冊	江戸	個人
7	信州善光寺如来御絵詞伝	1 枚	明治	個人
8	善光寺如来御詠歌	1 冊	明治	一宮市博物館
9	安養寺阿弥陀鏡 写真	1 枚	大正	個人
10	尾張祖父江本堂上棟式・御本尊開扉記念絵はがき	5 枚	明治	一宮市博物館
11	名古屋港善光寺移築記念絵はがき	2 枚	昭和	一宮市博物館
12	信州善光寺開帳記念絵はがき	3 枚	明治	一宮市博物館
13	浄土三部経			
	阿弥陀経	1 巻	不詳	
	無量寿経	2 巻	不詳	
	観無量寿経	1 巻	不詳	
14	往生要集（写真パネル）	1 巻	鎌倉	大谷大学図書館
15	栄花物語 第八巻	1 巻	江戸	愛知学院大学図書情報センター



No.	資料名	数量	時代	所蔵
16	源氏物語 卷第三十七・三十九	2 卷	江戸	愛知学院大学図書情報センター
17	平家物語 卷第二・十・十二	3 卷	江戸	愛知学院大学図書情報センター
18	絵入徒然草 上巻	1 卷	江戸	愛知学院大学図書情報センター
19	◎選択本願念仏集（写真パネル）	1 卷	鎌倉	大谷大学図書館
20	選択本願念仏集全集	1 卷	江戸	個人
21	○木造阿弥陀如来坐像	1 軀	鎌倉	阿弥陀寺（一宮市博物館寄託）
22	○木造阿弥陀如来立像	1 軀	室町	極楽寺（一宮市博物館寄託）
23	○絹本著色阿弥陀三尊来迎図	1 幅	南北朝	常保寺
24	○絹本著色弥陀・観音・地藏来迎図	1 幅	鎌倉	妙興寺
25	紙本著色阿弥陀三尊来迎図	1 幅	不詳	
26	六字名号	1 幅	不詳	妙興寺
27	木造南無太子像	1 軀	室町	妙興寺
28	尾濃葉栗見聞集六（市史資料）	1 冊	昭和	一宮市立中央図書館
29	奥村瀬部了泉寺由緒 全（市史資料）	1 冊	昭和	一宮市立中央図書館
30	入信上人坐像（写真パネル）	1 軀	江戸	茨城県つくば市・常福寺
31	入信上人縁起	1 卷	江戸	
32	本願寺聖人親鸞傳絵 上・下	2 冊	江戸	一宮市博物館
33	親鸞聖人・入信上人連座御影（写真パネル）	1 幅	江戸	茨城県つくば市・常福寺
34	蓮如上人御物語	1 冊	江戸	一宮市博物館
35	蓮如上人略伝	1 冊	江戸	一宮市博物館
36	御文	1 冊	江戸	一宮市博物館
37	親鸞聖人旅姿絵像	1 幅	不詳	
38	方便法身尊像（写真パネル）	1 幅	不詳	
39	十字名号（写真パネル）	1 幅	不詳	
40	金泥十字名号	1 幅	不詳	
41	金泥九字名号	1 幅	不詳	
42	金泥九字名号 伝親鸞筆	1 幅	不詳	妙興寺
43	高僧先徳連座像	1 幅	不詳	
44	○光明本尊	1 幅	室町	清須市・西方寺
45	○金泥十字名号（写真パネル）	1 幅	室町	新潟県佐渡市・本龍寺
46	絹本著色方便法身尊像	1 幅	不詳	
47	六字名号 蓮如筆	1 幅	不詳	
48	六字名号 伝蓮如筆	1 幅	不詳	一宮市博物館
参考	蓮如聖人絵像（写真パネル）	1 幅	不詳	
49	紙本著色山越弥陀図（写真パネル）	1 幅	不詳	
50	○頂相入六字名号 徳本筆	3 幅	江戸	
51	○六字名号 誓阿筆	1 幅	江戸	
52	○頂相入六字名号 誓阿筆	1 幅	江戸	
53	○刺繍六字名号 誓阿筆	1 幅	江戸	
54	○遺品	3 点	江戸	
55	誓阿上人念持仏・厨子	1 基	江戸	
56	六字名号 播隆筆	1 幅	江戸	一宮市博物館
57	六字名号拓本（市史資料）	1 幅	江戸	一宮市立中央図書館
58	百万遍講の数珠	1 点	江戸	一宮市博物館
59	絵入往生要集	3 卷	江戸	一宮市博物館
60	西方極楽路用勘定	1 冊	明治	個人

夏休み子ども展示 わたしたちのまち一宮～自然編～

会期	平成 25 年 8 月 3 日（土）～ 8 月 25 日（日）
主催	一宮市博物館
会場	展示室 4
印刷物	妙興寺の森たんけん地図 (A4) 100 枚 妙興寺の森たんけんノート (A4) 100 枚
観覧料	常設観覧料
開催日数	20 日間
入館者数	2,525 人（126.3 人／1 日）

「一宮市子ども写生大会作品展」（8 月 8 日～ 8 月 18 日、学校教育課主催）に合わせ、子どもたちの夏休みの自由研究に関連して、一宮の自然について取り上げた。一宮の自然環境や植物・動物を知ること、一宮がどのような場所・特徴を持っているかを理解し、これからの一宮の自然について考える一助となることを目指した。また、「体験！自由研究の“タネ”～自然編～」というテーマで子ども向け催事を実施し、実際に自然に関わる観察・体験も行った。妙興寺の森たんけん地図およびたんけんノートは、自然を観察する方法を身につけることができるよう、書き込めばそのまま自由研究として提出できるような構成とし、無料で配布した。

展示構成

- ①木曽川を知ろう！
- ②妙興寺の森を探検しよう！
- ③天然記念物を徹底調査！

出品目録

No.	資料名	所蔵
1	『尾張太古図 三河猿投神社蔵』（木版摺）	一宮市博物館
2	往古木曽川流脈之図写（市史資料）	一宮市立中央図書館
3	木曽川分流之図写（市史資料）	一宮市立中央図書館
4	木曽川上流の丸石	一宮市博物館
5	奈良県二上山のサヌカイト	一宮市博物館
6	長野県和田峠の黒曜石	一宮市博物館
7	イタセンパラ オス（写真パネル）	写真提供：世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ
8	イタセンパラ メス（写真パネル）	写真提供：世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ
9	イタセンパラ 稚魚（写真パネル）	写真提供：世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ
10	タイリクバラタナゴ（写真パネル）	写真提供：世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ
11	イシガイ（写真パネル）	写真提供：世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ
12	木曽川堤（サクラ）（写真パネル）	愛知県
13	地藏寺のイチイガシ（写真パネル）	本町通・地藏寺
14	島村のクロガネモチ（写真パネル）	個人
15	蓮浄寺のクスノキ（写真パネル）	佐千原・蓮浄寺



No.	資料名	所蔵
16	常保寺のイチョウ（写真パネル）	浅野・常保寺
17	宅美神社のヒトツバタゴ（写真パネル）	西大海道・宅美神社
18	重吉のケヤキ（写真パネル）	個人
19	九日市場のシャシャンボ（写真パネル）	丹陽町九日市場・白山社
20	あずらのクスノキ（写真パネル）	個人
21	河端のドウダン群（写真パネル）	個人
22	小塞神社社叢（写真パネル）	浅井町尾関・小塞神社
23	長誓寺のカイズカイクキ（写真パネル）	浅井町東浅井・長誓寺
24	長誓寺のシダレザクラ（写真パネル）	浅井町東浅井・長誓寺
25	長誓寺のヤマガキ（写真パネル）	浅井町東浅井・長誓寺
26	東浅井のトチノキ（写真パネル）	個人
27	菊安賀のムクノキ（写真パネル）	個人
28	妙興寺のスダジイ（写真パネル）	大和町・妙興寺
29	野見神社のスダジイ（写真パネル）	今伊勢町宮後・野見神社
30	萩原緑地のサイカチ（写真パネル）	一宮市
31	慶圓寺のカイズカイクキ（写真パネル）	千秋町佐野・慶圓寺
32	加納馬場のムクロジ（写真パネル）	千秋町加納馬場・日吉社
33	起のイブキ（写真パネル）	個人
34	起の大イチョウ（写真パネル）	起・大明神社
35	起のヤマガキ（写真パネル）	起・大明神社
36	光願寺のコウヤマキ（写真パネル）	玉野・光願寺
37	西萩原のクロガネモチ（写真パネル）	西萩原のクロガネモチ
38	玉野のシラカシ（写真パネル）	玉野のシラカシ
39	玉野のクロガネモチ群（写真パネル）	玉野・八劔神社
40	鞆江のイチョウ（写真パネル）	明地・鞆江神社
41	鞆江神社の参道 黒松の並木共（写真パネル）	明地・鞆江神社
42	若宮のクロガネモチ（写真パネル）	東五城字若宮・神明社
43	出先のムクノキ（写真パネル）	東五城字出先・神明社
44	三位のイチョウ（写真パネル）	小信中島・堤治神社
45	起宿披本陣のイブキ（写真パネル）	個人
46	法信寺のタブノキ（写真パネル）	北今・法信寺
47	富田一里塚（写真パネル）	富田・神明社
48	妙興寺境内地（写真パネル）	大和町・妙興寺

企画展 2013 一宮美術作家協会展

会期 平成 25 年 8 月 31 日（土）～ 9 月 16 日（月・祝）
 主催 一宮市博物館・一宮美術作家協会
 会場 特別展示室、講座室、展示室 4、ラウンジ、1 階ギャラリー
 印刷物 案内はがき（220×110mm） 3,500 枚
 観覧料 常設観覧料
 開催日数 15 日間
 入館者数 1,890 人（126 人／1 日）

一宮美術作家協会会員による、最新の発想でイメージの試作を展開した作品展。美術作家の清新な制作活動の発表の場として、当地の新たな美術文化の進展に資することを目的にするもので、平成 14 年度からの継続事業である。平成 25 年度は、59 名の会員が出展し、うち 2 名による特別展示を行った。第 63 回一宮市芸術祭参加事業。

出品者・出品作品

部門名、出品者名、作品名（部門別、50 音順）

日本画	大島 奈知子	蓮池冬韻	加島 昌子	ピサの街
	河村 明美	紹興旧市街	高橋 弘子	片蔭（中国）
	丹羽 桃慶	ホイアンの路地	本多 功	想
	松岡 彩子	向日葵		
洋画	伊藤 眞巳	雑木林が見える	井上 悟	裸婦
	井上 雅夫	絶望と希望の間	岩田 哲夫	春宵 No.5
	江村 亨	安堵の時	大島 辰子	春の憧憬
	大島 信人	On The Terrace	大塚 将司	MIZU の風景
	小笠原 千鶴	5 W 1 H	小倉 照江	残像
	小倉 義夫	眼のある風景	梶浦 寿布	通り過ぎて行く風景
	鬼頭 厚生	バリ島の風	木村 満幸	星座を往くポストマン
	後藤 一三	時 I	後藤 泰洋	火モマタ涼シ
	櫻井 幹郎	作品（或いは想）	左合 英明	浮遊
	佐藤 典子	おもちゃ箱（まんだら）2013	すぎもと 和	パラソルと子供たち
	関野 敦	後鳥羽上皇像 1	高森 和子	時の流れ
	高山 悟	フルート・アンサンブル	田島 幸子	作品 H13-25 広
	寺西 洋二	犬山城遠望	富田 信子	よこたわる
	野原 三義	Dream	橋本 進	登り窯
	堀尾 一郎	アルハンブラ宮殿の春	前野 恒	大江川水門
	増田 和臣	W・A・R 13-8-1	三輪 修	Garnet
	三輪 清弘	躍動	村上 佳久子	異国の人々
	森 義朗	午後、夏の日	山崎 澄	エビ網の繕い
	吉田 まさこ	メモリー II	若月 陽子	in the yard
彫塑	川原 孝文	エレンヌ	長谷川厚一郎	勇気をもって
	真下 賢一	Inner Vision		
デザイン	岡崎 美穂	絆 世界遺産登録	森 昭夫	SPACE AND SPASE

工芸 石田 元子 スライスした土
 澤田 進治 幻影
 林 節子 わたしのおうち
 松岡 孝司 吉兆 II

鶴飼 辰郎 宙
 永瀬 歳子 秋麗
 夫馬 信行 DIGGIN'

特別展示

滝野 弘次〔洋画〕
 想
 浸
 感もよう I
 回生
 蓮空共生
 辞海
 感もよう II
 華

平林 幸子〔洋画〕
 お・ん・な「桃子」
 ジムの女「歩」
 ing woman S 子
 ジムの女「華子」
 マザーズ chair
 マザーズ tree

企画展 一宮写真協会選抜写真展

会期 平成 25 年 9 月 19 日（木）～ 9 月 29 日（日）
 主催 一宮市博物館・一宮写真協会
 会場 特別展示室、講座室、ラウンジ
 印刷物 案内はがき（150 × 100mm） 3,000 枚
 観覧料 常設観覧料
 開催日数 10 日間
 入館者数 1,369 人（136.9 人／1 日）

一宮写真協会会員のうち 33 名による、感性に裏打ちされた表現力で熱い思いを込めた写真展。平成 14 年度からの継続事業であり、平成 25 年度のテーマは「今 この時を 撮る。」であった。第 63 回一宮市芸術祭参加事業。

出品者

青木 尚子	安藤 浩仁	市川 勝朗	伊藤 繁雄	今井 要
上津 福三	大矢 真理子	岡田 忠夫	小川 照秋	小原 勇二
笠野 俊彦	加藤 紀子	加藤 泰子	金森 光紀	木村 克彦
木村 晴子	木村 龍雄	桜井 悦子	佐野 ルミ子	千田 隆末
所 由紀子	中村 薫	橋本 秀子	長谷川 隆光	長谷川 蔦江
林 三平	林 孝弘	林 都美子	夫馬 勲	古館 正芳
水谷 嘉男	宮崎 久仁子	脇田 和彦		（50 音順）

特別展 縄文から弥生へ～馬見塚遺跡の時代

会期	平成 25 年 10 月 12 日 (土) ～ 11 月 17 日 (日)
開会式	10 月 12 日 (土) 午前 9 時 30 分～
主催	一宮市博物館
会場	特別展示室、講座室、ラウンジ、1 階ギャラリー
印刷物	ポスター (B2) 900 枚 リーフレット (A4) 55,000 枚 展示図録 (A4、76 頁) 1,000 部 観覧券 9,000 枚 開会式案内状・封筒 600 部
観覧料	一般 400 円、高・大生 200 円、小・中生 100 円
開催日数	32 日間
入館者数	1,775 人 (55.5 人／1 日)

一宮市西成連区に位置する馬見塚遺跡は、日本の考古学において重要な遺跡である。かつて尾張平野には縄文時代遺跡が存在しないと考えられていたため、大正 15 年に発見され学会へ報告された馬見塚遺跡出土土器は、当時の考古学会に大きなインパクトを与えた。以後、多くの人々による発掘調査や学術調査、遺物採集等が行われてきた。本展では、平成 25 年に馬見塚遺跡の発見から 90 年を迎えるにあたり、馬見塚遺跡の研究史を振り返るとともに、馬見塚遺跡出土資料を他地域の資料と比較しながら、尾張平野の縄文時代後晩期から弥生時代の様相を明らかにした。

展示構成

- ①一宮市の自然環境
- ②馬見塚遺跡の発見と調査の歴史
- ③祈りと墓制
- ④縄文時代の暮らし
- ⑤縄文から弥生へ～縄文土器と弥生土器



出品目録

No.	資料名	数量	所蔵
1	ボーリング調査資料	1	一宮市博物館
2	『馬見塚・二子出土物略図』	1	一宮市立中央図書館
3	『馬見塚石器時代甕棺発表集』	1	一宮市立中央図書館
4	『馬見塚石器時代遺跡案内』	1	一宮市立中央図書館
5	『浅野の史蹟』	1	岩野 見司
6	『東海の史蹟 尾張編』	1	岩野 見司
7	『愛知縣の石器時代』	1	岩野 見司
8	『考古学』5	1	岩野 見司
9	『東海先史文化の諸段階（資料編Ⅱ）』	一括	岩野 見司
10	馬見塚遺跡出土石器	12	馬見塚遺跡保存会
11	馬見塚遺跡 H 地点出土土器	13	設楽 博己
12	山田正夫氏採集馬見塚遺跡出土土器	1	名古屋市見晴台考古資料館
13	馬見塚遺跡出土御物石器	1	一宮市博物館
14	平井稲荷山貝塚出土御物石器	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
15	杉沢遺跡出土御物石器	1	滋賀県立琵琶湖文化館
16	伊川津貝塚出土叉状研歯頭骨（複製）	2	田原市教育委員会
17	馬見塚遺跡出土土偶	2	一宮市博物館
18	麻生田大橋遺跡 SK124 出土土偶	5	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
19	麻生田大橋遺跡出土土偶	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
29	馬見塚遺跡 H 地点出土土偶脚部	8	設楽 博己
30	北裏遺跡出土土偶	1	可児市教育委員会
31	伊川津貝塚出土有髯土偶（複製）	1	田原市教育委員会（原資料：東京大学）
32	玉ノ井遺跡第3次調査出土土偶	1	名古屋市見晴台考古資料館
33	麻生田大橋遺跡出土土偶	1	愛知県埋蔵文化財センター
34	馬見塚遺跡出土異形石器	5	設楽 博己
35	馬見塚遺跡出土石冠	2	一宮市博物館
36	北裏遺跡出土石冠	1	可児市教育委員会
37	馬見塚遺跡出土石冠	3	設楽 博己
38	麻生田大橋遺跡出土石冠	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
39	伊川津貝塚出土石冠	1	田原市教育委員会
40	馬見塚遺跡出土石剣破片	1	設楽 博己
41	北裏遺跡出土石刀	一括	可児市教育委員会
42	馬見塚遺跡出土石棒	2	馬見塚遺跡保存会
43	北裏遺跡出土石棒	1	可児市教育委員会
44	馬見塚遺跡出土石棒	5	荒木集成館
45	麻生田大橋遺跡出土石棒	3	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
46	伊川津貝塚出土石棒	1	田原市教育委員会
47	杉沢遺跡出土石棒	1	米原市教育委員会
48	麻生田大橋遺跡出土石棒	1	愛知県埋蔵文化財調査センター
49	麻生田大橋遺跡出土石製品	1	愛知県埋蔵文化財調査センター
50	牛牧遺跡出土石棒	2	愛知県埋蔵文化財調査センター
51	馬見塚遺跡出土合わせ口土器棺	2 組	馬見塚遺跡保存会

No.	資料名	数量	所蔵
52	馬見塚遺跡出土土器棺	1	馬見塚遺跡保存会
53	馬見塚遺跡 F 地点出土土器棺 (1 号棺)	1	一宮市博物館蔵
54	馬見塚遺跡 F 地点出土土器棺 (2 号棺)	1 組	一宮市博物館蔵
55	馬見塚遺跡 F 地点出土土器棺 (3 号棺)	1	一宮市博物館蔵
56	馬見塚遺跡 F 地点出土土器棺 (4 号棺)	1	一宮市博物館蔵
57	馬見塚遺跡 F 地点出土土器棺 (5 号棺)	1	一宮市博物館蔵
58	馬見塚遺跡平成元年出土土器	一括	一宮市博物館蔵
59	馬見塚遺跡平成 12 年調査出土土器棺	1 組	一宮市博物館蔵
60	馬見塚遺跡 土器片	一括	國學院大學栃木学園参考館
61	北裏遺跡出土土器棺	6	可児市教育委員会
62	名古屋市千種区東明町 土器棺	1	荒木集成館
63	麻生田大橋遺跡出土土器棺	7	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
64	伊川津貝塚出土土器棺	3	田原市教育委員会
65	馬見塚遺跡出土土器棺	4	名古屋市見晴台考古資料館
66	玉ノ井遺跡第 3 次調査出土土器棺	1	名古屋市見晴台考古資料館
67	玉ノ井遺跡第 4 次調査出土土器棺	1	名古屋市見晴台考古資料館
68	玉ノ井遺跡第 5 次調査出土土器棺	1	名古屋市見晴台考古資料館
69	玉ノ井遺跡第 6 次調査出土土器棺	1	名古屋市見晴台考古資料館
70	玉ノ井遺跡第 3 次調査土器棺墓 3 出土人骨	1	名古屋市見晴台考古資料館
71	玉ノ井遺跡第 3 次調査土墳墓 10 出土人骨	1	名古屋市見晴台考古資料館
72	麻生田大橋遺跡出土土器棺	6	愛知県埋蔵文化財センター
73	滋賀里遺跡出土土器	3	滋賀県立安土城考古博物館
74	土田遺跡出土土器棺 (3 号棺)	1 組	多賀町教育委員会
75	土田遺跡出土土器棺 (7 号棺)	1 組	多賀町教育委員会
76	土田遺跡出土土器棺 (11 号棺)	1 組	多賀町教育委員会
77	土田遺跡出土土器棺 (12 号棺)	1	多賀町教育委員会
78	土田遺跡出土人の歯	3	多賀町教育委員会
79	土田遺跡出土顔料付着の埋土	1	多賀町教育委員会
80	杉沢遺跡出土土器棺 (1 号棺)	1 組	長浜市教育委員会
81	杉沢遺跡出土土器棺 (9 号棺)	1 組	米原市教育委員会
82	杉沢遺跡出土土器棺 (10 号棺)	1 組	米原市教育委員会
83	杉沢遺跡出土土器棺 (11 号棺)	1	米原市教育委員会
84	杉沢遺跡出土土器棺 (10 号棺) 出土状況模型	1	米原市教育委員会
85	杉沢遺跡発掘風景写真	2	米原市教育委員会
86	牛牧遺跡出土土器棺	4	愛知県埋蔵文化財センター
87	馬見塚遺跡ハッカ地点出土土器	1	一宮市博物館
88	神明社貝塚出土土器	2	南知多町教育委員会
89	麻生田大橋遺跡出土磨製石斧	3	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
90	馬見塚遺跡出土磨製石斧	一括	一宮市博物館
91	馬見塚遺跡出土磨製石斧	一括	馬見塚遺跡保存会
92	馬見塚遺跡出土磨製石斧	1	名古屋市見晴台考古資料館
93	馬見塚遺跡 H 地出土打製石斧	1	設楽 博己
94	馬見塚遺跡ハッカ地点出土打製石斧	1	一宮市博物館
95	麻生田大橋遺跡出土打製石斧装着例	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム

No.	資料名	数量	所蔵
96	馬見塚遺跡出土打製石斧	1	名古屋市見晴台考古資料館
97	馬見塚遺跡 F 地点出土打製石斧	1	一宮市博物館
98	馬見塚遺跡出土石錐	7	名古屋市見晴台考古資料館
99	馬見塚遺跡出土石鏃	一括	馬見塚遺跡保存会
100	馬見塚遺跡出土部分磨製石鏃	1	一宮市博物館
101	馬見塚遺跡出土石鏃	22	名古屋市見晴台考古資料館
102	馬見塚遺跡ハッカ地点出土下呂石剥片	一括	一宮市博物館
103	馬見塚遺跡出土骨鏃	1	一宮市博物館
104	馬見塚遺跡遺跡出土土器	一括	一宮市博物館（増子康真寄贈資料）
105	馬見塚遺跡ハッカ地点出土凹線文土器（東海系）	一括	一宮市博物館
106	馬見塚遺跡ハッカ地点出土凹線文土器（中部高知系）	一括	一宮市博物館
107	馬見塚遺跡ハッカ地点出土凹線文土器（近畿系）	一括	一宮市博物館
108	伊川津貝塚出土凹線文土器	1	田原市教育委員会
109	神明社貝塚出土凹線文土器	2	南知多町教育委員会
110	天白遺跡出土凹線文土器	4	三重県埋蔵文化財センター
111	中村中平遺跡出土土器	13	飯田市教育委員会
112	馬見塚遺跡出土土器（半歳竹管文）	一括	一宮市博物館
113	馬見塚遺跡出土土器（櫃原文様）	一括	一宮市博物館
114	馬見塚遺跡出土土器（浮線網状文）	一括	一宮市博物館
115	神明社貝塚出土浮線網状文土器	1	南知多町教育委員会
116	氷遺跡 縄文土器（深鉢）	2	國學院大學栃木学園参考館
117	氷遺跡 縄文土器（浅鉢）	1	國學院大學栃木学園参考館
118	氷遺跡 縄文土器（壺形土器）	2	國學院大學栃木学園参考館
119	氷遺跡 縄文土器（甕形土器）	2	國學院大學栃木学園参考館
120	北裏遺跡出土土器（大洞系）	1	可児市教育委員会
121	馬見塚遺跡出土土器（大洞系）	一括	一宮市博物館
122	麻生田大橋遺跡出土浅鉢	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
123	麻生田大橋遺跡出土台付鉢	1	豊川市桜ヶ丘ミュージアム
124	馬見塚遺跡 F 地点出土壺形土器	一括	一宮市博物館
125	馬見塚遺跡出土壺形土器	一括	一宮市博物館
126	馬見塚遺跡出土突帯文土器	一括	一宮市博物館
127	馬見塚遺跡出土浅鉢	1	名古屋市見晴台考古資料館
128	馬見塚遺跡出土浅鉢	一括	一宮市博物館
129	馬見塚遺跡出土土器（条痕文）	一括	一宮市博物館
130	三ツ井遺跡出土土器	一括	一宮市博物館
131	山中遺跡出土土器	1	一宮市博物館
132	猫島遺跡出土土器	1	一宮市博物館
133	八王子遺跡出土土器	一括	一宮市博物館
134	八王子遺跡出土遠賀川系土器壺	1	一宮市博物館
135	八王子遺跡出土遠賀川系土器甕	1	一宮市博物館

企画展 2013 一宮市現代作家美術秀選展

会期	平成 25 年 11 月 30 日（土）～ 12 月 15 日（日）	
開会式	11 月 30 日（土）午前 9 時 30 分～	
主催	一宮市博物館	
監修	一宮美術作家協会、一宮書道協会、一宮写真協会	
会場	特別展示室、講座室、展示室 4、ラウンジ、 1 階ギャラリー	
印刷物	ポスター (B2)	700 枚
	リーフレット (A4)	10,000 枚
	観覧券	4,400 枚
観覧料	常設観覧料	
開催日数	14 日間	
入館者数	2,333 人（166.6 人／1 日）	

美術を愛好する市民に美術作品の精華の再認識を促し、市民による一層の美術振興に資することを目的として、平成 13 年度から継続して開催している展覧会。春に行われた 2013 一宮総合美術展や秋の第 71 回一宮市美術展などの成果を受けて、一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会推薦者 75 名の作品、および一宮市美術展市長賞受賞作品を展示した。ポスター掲載作品は川原孝文《邂逅》。



出品者・出品作品

日本画

大島 奈知子	豊穡の行方	河出 幸之助	牡丹
河村 明美	菊径村集落（婺源）	名倉 勝三	赤い迷い道
本多 功	視る	松岡 彩子	霜降（Ⅱ）

洋画

伊藤 常男	スペースタイム	井上 雅夫	グッゲンハイムの光
岩田 哲夫	春宵 No.4	大島 辰子	春の譜
大島 信人	カルム	大塚 将司	Untitled
小倉 義夫	格差社会「交差点」	後藤 泰洋	カミイマス
櫻井 幹郎	作品（或いは想）	左合 英明	虹のかけはし
すぎもと 和	こいのぼりとその仲間たち	関野 敦	F.
高森 和子	時の流れ	高山 悟	演奏前
仲山 瑛子	大楠（オオクス）	堀尾 一郎	ヒビリアの冬
増田 和臣	N・O・W 13-B	三輪 修	Paradiso
三輪 清弘	異国の石彫刻	山崎 澄	碎石場残雪
若月 陽子	- in the pond -		

彫刻・立体

川原 孝文	邂逅	櫻井 真理	ほほえみ
長谷川 厚一郎	生きる	真下 賢一	プレイ・ペープメント

工芸

鵜飼 辰郎	central - station	澤田 進治	KUON
林 節子	大きくなあれ		

デザイン

鵜飼 のはら	未来	岡崎 美穂	Love Planets すばらしき世界
森 昭夫	SPACE AND SPACE		

書

安藤 蘇道	俳句一句	伊藤 玄圃	書画作品
岩田 潤流	悠悠	牛田 五龍	王維詩
加藤 松翠	唐詩 蘇東坡詩	亀山 雪峰	春桜秋菊
河合 瑤舟	七言二句	川浦 碧涛	于武陵詩
木戸 竹葉	良寛詩	近藤 芳玉	錢起詩
佐々 清香	良寛詩	佐野 桃子	六言一句
高木 曾水	瓦當文三首	武山 翠屋	七言二句
田代 春苑	揚峴	富田 栄楽	旅人と我が名呼ばれむ初時雨（芭蕉）
中村 曾南	柳駕風搖	則武 穹	刻字 山溜穿石
林 如華	白楽天詩	林 大樹	一楽慰人
夫馬 千石	「礼記」詩	村上 堯紅	花いばら
村田 光柊	于謙詩	森 隆城	おもてなし
山田 杏華	蘇東坡詩（和孔周翰二絶）	依田 鶴歩	三字対語

写真

青木 尚子	若年労働者	安藤 治仁	命をつなぐ
磯村 文男	ブルーインパルス	伊藤 繁雄	叫び
桜井 悦子	千手	中村 薫	発車 5 分前
橋本 秀子	水遊び	林 三平	追憶
夫馬 勲	天竺の人	光田 せいすけ	初秋に舞う
山口 峰子	私のペット		

市長賞

日本画	藤塚 章	秋声
洋画	内藤 圭介	異次元の箱
	水野 潔	アコーディオンのある静物
	吉村 理華	生命の樹
彫刻・立体	伊藤 毅	現代バベルの塔（聖書から）
工芸	丹慶 哲宏	浮遊（フユウ）
デザイン	柘植 雅一	冬の交響詩※
書	小松 月泉	米芾
	古川 白萩	倪元璐詩
	牧 恵清	紅葉
写真	長谷川 蔦江	満載

※出品辞退

部門名、出品者名、作品名（部門別、50 音順）

出品目録

No.	資料名	No.	資料名	No.	資料名
1	がんどう（金属製）	41	台唐	81	ちょうだい
2	がんどう（木製桶型）	42	立臼・杵	82	しょうじき
3	蠅取瓶	43	唐箕	83	こめびつ
4	蚊いぶし	44	金通	84	いっとます
5	型板（提灯製作用具）	45	とおし	85	とかき
6	高下駄	46	箕	86	かます
7	炬燵	47	長着	87	たる
8	箱膳	48	わらぞうり	88	せいろ
9	茶碗	49	ぞうりつくりだい	89	しるおけ
10	タキモン	50	下駄	90	しるびしゃく
11	大火鉢	51	高下駄	91	すしばこ
12	風呂籠	52	くけだい	92	まめいり
13	タワシ	53	わたくりろくろ	93	いかき
14	荒神箒	54	糸車	94	こねばち
15	藁草履	55	高機（復元）	95	すりばち
16	蠅叩き	56	運搬車	96	せんば
17	伸子張り・桁	57	しんどかご（4点）	97	酒徳利
18	棹秤	58	大八車	98	かつおぶしけずり
19	割り干し	59	鳥籠	99	くど
20	綿の実	60	手桶	100	たきもん
21	水縄（間縄）	61	水漉囊（はんどがめ）	101	釜
22	横槌	62	柄杓	102	茶釜
23	石臼	63	井戸	103	鍋
24	臼台	64	棹釣瓶	104	七輪
25	棹秤	65	はんぞ	105	荒神箒
26	鋤	66	洗濯板	106	火消壺
27	備中	67	盥	107	こしがめ
28	手備中	68	張板	108	はんぞ
29	田おこし	69	伸子張り	109	ながし
30	犁	70	張手	110	たわし
31	田ならし	71	風呂桶	111	まないた
32	田すり	72	風呂籠	112	はいとこぬか
33	苗籠	73	箱膳	113	猫火鉢
34	天秤棒	74	ちゃぶだい		
35	田舟	75	電気釜	すべて一宮市博物館蔵	
36	千歯こき	76	保温ジャー		
37	足踏み脱穀機	77	いずみ		
38	粳ならし	78	おひつ		
39	土臼	79	しゃもじ		
40	石臼・臼台	80	めしかご		

特別展 妙興寺展

会期	平成 26 年 10 月 18 日（土）～ 11 月 16 日（日）		
	展示替え 11 月 4 日（火）		
	開会式・内覧会 10 月 17 日（金）午前 10 時～		
主催	一宮市博物館		
特別協力	妙興寺		
会場	特別展示室、講座室、小展示室、ラウンジ、 1 階ギャラリー		
印刷物	ポスター (B2)	800 枚	
	リーフレット (A4)	3,5000 枚	
	学校用リーフレット (A4)	50,000 枚	
	展示図録 (A4、76 頁)	1,000 部	
	観覧券	15,000 枚	
	開会式案内状・封筒	600 枚	
観覧料	一般 500 円、高・大生 200 円、小・中生 100 円		
開催日数	26 日間		
入館者数	4,919 人（189.2 人／1 日）		

一宮市博物館に隣接する長嶋山妙興報恩禅寺は、貞和 4 年(1348)の創建以来、尾張の臨済宗の中心寺院として発展してきた。その歴史は、妙興寺およびその塔頭寺院に伝わる多数の古文書や美術工艺品などからも知ることができる。本展では、博物館の常設展示リニューアルオープンにあわせて、新たに重要文化財指定を受けた袈裟二領を含む国指定の重要文化財や愛知県指定文化財、一宮市指定文化財などを紹介した。

展示構成

- ①妙興寺の歴史
- ②妙興寺ゆかりの名宝
- ③妙興寺の仏たち

出品目録

No.	資料名	数量	時代	所蔵
1	○軒丸瓦	2 点	奈良	妙興寺
2	塼仏断片	1 点	奈良	妙興寺
3	妙興寺境内各所出土瓦	一括	奈良	妙興寺・来薰院
4	法堂跡出土瓦	一括	奈良	妙興寺
5	妙興寺境内各所出土土器	一括	奈良～室町	妙興寺
6	◎滅宗宗興行状記 無隠徳吾筆	1 巻	享徳 2 年（1453）	妙興寺
7	◎妙興寺由来記 無隠徳吾筆	1 巻	享徳 2 年（1453）	妙興寺
8	◎荒尾宗顕売券	1 枚	貞和 2 年（1346）	妙興寺
9	◎妙興寺領坪付注文	1 巻	文和 2 年（1353）	妙興寺
10	◎滅宗宗興寄進状	1 幅	永和 5 年（1379）	妙興寺
11	●南浦紹明塔銘牌	1 基	享徳 2 年（1453）	妙興寺
12	◎南浦紹明坐像	1 軀	鎌倉	妙興寺



No.	資料名	数量	時代	所蔵
13	○滅宗宗興坐像	1 軀	南北朝	妙興寺
14	◎足利義教像 瑞溪周鳳賛	1 幅	室町	妙興寺
15	●豊臣秀吉像 南化玄興賛	1 幅	慶長 5 年（1600）賛	妙興寺
16	○南化玄興像 自賛	1 幅	安土桃山	妙興寺
17	◎足利尊氏寄進状	1 枚	文和 3 年（1354）	妙興寺
18	◎足利義詮寄進状	1 枚	文和 2 年（1353）	妙興寺
19	◎後光厳天皇綸旨	1 枚	延文元年（1356）頃	妙興寺
20	◎足利義詮御教書	1 枚	貞治 3 年（1364）	妙興寺
21	◎豊臣秀吉朱印状（写）	1 枚	文禄 4 年（1595）	妙興寺
22	◎松平忠吉朱印状	1 枚	慶長 6 年（1601）	妙興寺
23	◎嶋宮村検地帳	3 冊のうち 2 冊	慶長 13 年（1608）	妙興寺
24	●神農図 神前松徳筆 蘭叟紹秀賛	1 幅	江戸初期	妙興寺
25	●達磨図 神前松徳筆 蘭叟紹秀賛	1 幅	江戸初期	妙興寺
26	○釈迦三尊像	3 幅	室町	妙興寺
27	○不動明王像 龍湫周澤筆 自賛	1 幅	嘉慶元年（1387）賛	妙興寺
28	○蓬萊寿老人像 万里集九賛	1 幅	明応 4 年（1495）賛	妙興寺
29	●竹雉子図 足利義継筆	1 幅	室町	妙興寺
30	●鷹図 万里集九賛	1 幅	明応 2 年（1493）賛	妙興寺
31	○柳牛図 毛倫筆	1 幅	中国・元	妙興寺
32	○五位鷺図	1 幅	室町	妙興寺
33	○墨梅図（白梅図）	1 幅	中国・明	妙興寺
34	○墨梅図（紅梅図） 雪崖筆	1 幅	室町	妙興寺
35	○山水図 雪閑筆	1 幅	室町	妙興寺
36	○蓮池水禽図 雪洞筆	2 幅	室町	妙興寺
37	◎十六羅漢図	16 幅	中国・元	妙興寺
38	白衣観音図・龍虎図	3 幅	室町	妙興寺
39	◎道仏二教諸尊図	4 幅	中国・南宋～元	妙興寺
40	◎白衣観音図 良全筆 乾峰士曇賛	1 幅	鎌倉～南北朝	妙興寺
41	◎文殊菩薩像 空谷明応賛	1 幅	応永 7 年（1400）賛	妙興寺
42	◎九条袈裟 南浦紹明所用	1 領	中国・南宋～元	妙興寺
43	◎九条袈裟 滅宗宗興所用	1 領	南北朝	妙興寺
44	御深井焼浮牡丹文香炉	1 口	江戸	妙興寺
45	●彫根来大香合 南化玄興所用	1 合	室町～安土桃山	妙興寺
46	○喚鐘	1 口	享徳 2 年（1453）	妙興寺
47	○手水鉢	1 口	江戸	妙興寺
48	仙蓋瓶	1 対	江戸	妙興寺
49	織部獅子大香炉	1 口	江戸	妙興寺
50	阿古陀鐘子	1 口	室町	妙興寺
51	能面（尉）	1 面	室町	妙興寺
52	○朱漆沈金膳	3 客	室町～安土桃山	妙興寺
53	湖州鏡 付朱漆塗鏡篋	1 面・1 合	中国・宋	妙興寺
54	布袋坐像（南浦紹明所用）	1 軀	中国・宋	妙興寺
55	木額「天祥庵」 可庵円慧筆	1 枚	南北朝	妙興寺
56	木額「上堂」 文微明筆	1 枚	中国・明	妙興寺
57	木額「坐禅」「放参」 伝無準師範筆	1 枚	中国・南宋	妙興寺
58	聖観音菩薩坐像	1 軀	平安	来薰院
59	○不動明王立像	1 軀	平安	耕雲院
60	達磨大師坐像	1 軀	室町	妙興寺
61	大権修理菩薩椅坐像	1 軀	応永 19 年（1412）	妙興寺
62	伽藍神椅坐像	1 軀	室町	妙興寺
63	○天部立像	1 軀	平安	妙興寺
64	○天部立像	1 軀	平安	妙興寺
65	○釈迦三尊坐像	3 軀	南北朝	妙興寺

企画展 2014 一宮市現代作家美術秀選展

会期	平成 26 年 11 月 29 日（土）～ 12 月 14 日（日）	
	開会式 11 月 29 日（土）午前 9 時 30 分～	
主催	一宮市博物館	
監修	一宮美術作家協会、一宮書道協会、一宮写真協会	
会場	特別展示室、講座室、小展示室、ラウンジ、 1 階ギャラリー	
印刷物	ポスター (B2)	700 枚
	リーフレット (A4)	10,000 枚
	観覧券	4,400 枚
観覧料	常設観覧料	
開催日数	14 日間	
入館者数	2,149 人（153.5 人／1 日）	

美術を愛好する市民に美術作品の精華の再認識を促し、市民による一層の美術振興に資することを目的として、平成 13 年度から継続して開催している展覧会。春に行われた 2014 一宮総合美術展や秋の第 72 回一宮市美術展などの成果を受けて、一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会推薦者 73 名の作品、および一宮市美術展市長賞受賞作品を展示した。ポスター掲載作品は岡崎美穂《彩》。



2014 一宮市現代作家美術秀選展

「一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会」に属する現代作家の選りすぐりの作品
第 72 回一宮市美術展市長賞受賞作品を展示します

平成 26 年 11 月 29 日（土）～ 12 月 14 日（日）
開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は 4 時 30 分まで）※観覧料は別途お支払い下さい
休 館 日 12 月 1 日（月）・8 日（月）

★観 覧 料 一般 200 円（160 円）、高校・大学生 100 円（80 円）、小・中学生 50 円（40 円）
〔施設料を含む〕 ※1 1 円は別途お支払いください。200 人以上の団体、
※2 市内の小・中学生は無料。
※3 市内在住の市民は、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書を提示された
場合は無料。
※4 団体観覧料等の手帳を所持の方（1 人 1 人を含む）は無料。
★販売券のご案内 11 月 1 日（土）～ 12 月 14 日（日）の間、一宮市総合市民センター、一宮市博物館、
一宮市美術館、一宮市美術館、一宮市美術館、一宮市美術館にて販売
★主 催 一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会
★協 賛 一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会

一宮市博物館

11 月 29 日（土）～ 12 月 14 日（日）
〒466-8501 一宮市本町 1-1-1
TEL 0565-23-1111 FAX 0565-23-1112
URL http://www.city.ikoma.lg.jp/museum

出品者・出品作品

日本画

大島 奈知子	回歸	河出 幸之助	寒牡丹
河村 明美	居庸関長城	名倉 勝三	上津橋（中国・蘇州）
松岡 彩子	咲いた		

洋画

井上 雅夫	アーチのかたち	岩田 哲夫	春宵 No.6
江村 亨	追憶	大島 辰子	春いくたびか
大島 信人	On The Terrace	大塚 将司	After image
小倉 義夫	漂流 107 日	後藤 泰洋	9.27
櫻井 幹郎	作品（或いはマンダラ）	左合 英明	青いマルシェ
すぎもと 和	生命の樹とその仲間たち	関野 敦	無題
高森 和子	内なる記憶	高山 悟	治水の人々
寺西 洋二	落陽・木曽川 河畔	野原 三義	合奏
堀尾 一郎	トレビーズ・青春の輝き	増田 和臣	どこへいくか
松本 幹永	不識	三輪 修	Garnet II
三輪 清弘	家族	山崎 澄	秋の装い
若月 陽子	草むら・考		

彫刻・立体

川原 孝文	エスキース	櫻井 真理	新たな道
長谷川 厚一郎	ANOITO	真下 賢一	プレイ・スカルプチャー

工芸

足立 重喜 白釉茶盃
澤田 進治 刻・紋
松岡 孝司 跳

鵜飼 辰郎 A・B・U・K・U
林 節子 いちじくのうた

デザイン

鵜飼 のはら cloth textile
森 昭夫 SPACE AND SPACE

岡崎 美穂 習 世界遺産登録

書

安藤 蘇道
伊藤 玄圃
加藤 松翠
河合 瑤舟
木戸 竹葉
佐々 清香
高木 曾水
田代 春苑
中村 曾南
林 如華
夫馬 千石
村田 光柊
山田 杏華

伊藤 暁嶺
岩田 澗流
亀山 雪峰
川浦 碧涛
近藤 芳玉
佐野 桃子
武山 翠屋
富田 栄楽
則武 穹
林 大樹
村上 堯紅
森 隆城

写真

青木 尚子 ハト使い
伊藤 繁雄 終焉
中村 薫 ゴジラ現れる
林 三平 番人

安藤 治仁 氷彩
桜井 悦子 男
橋本 秀子 追憶
夫馬 勲 ガンジス賛歌

市長賞

日本画 青藍 蒼 ※
洋画 香川 絹代 船屋
加藤 栄子 収穫
水野 種富 自画像
彫刻・立体 松本 崇宏 untitled
工芸 田中 彰子 青イラボ
デザイン 山岸 克也 BE SURPRISED (驚き・驚愕)
書 鵜飼 秀麗 王維詩
可児 長望 七言二句
谷本 義仙 巖維詩
写真 中村 薫 昭和の風貌

※出品辞退

部門名、出品者名、作品名（部門別、50 音順）

企画展 暮らしの中の民具 “ちえ”と“くふう”

会期	平成 27 年 1 月 10 日（土）～ 3 月 8 日（日）		
主催	一宮市博物館		
会場	特別展示室、小展示室、ラウンジ、1 階ギャラリー		
印刷物	ポスター（B2）	600 枚	
	リーフレット（A4）	50,000 枚	
	展示解説書（A5、36 頁）	6,000 部	無料配布
	観覧券	5,500 枚	
観覧料	常設観覧料		
開催日数	49 日間		
入館者数	6,864 人（140.0 人／1 日）		

社会科単元「古い道具と昔の暮らし」において、博物館を見学する小学校 3 年生を対象に、民具を通して昔の暮らしを紹介する展覧会であり、平成 3 年度からの継続事業である。平成 26 年度は「ちえとくふう」をテーマに、古い道具には先人の創意工夫が込められていることへの気づきを促すことを目的とした。

展示構成

- ①衣服と道具
- ②住まいの道具
- ③食生活の道具
- ④一宮市のまつりと民俗芸能

**むかしの道具の、
ナイショのハナシ。**



たえば、せんたくいのハナシ。
じつは、ヨーロッパ生まれのこのワタシ。
ギザギザはせんたくものよこれを
おとしやすいように。
まあいくほみは、せつけんおきば。
なつの日もさむいふゆの日も、
せんたくはワタシのだいじなおシゴトよ。
いつも井戸ばたはワタシの居場所だったのに、
ある日おとうさんがせんたくきを買ってきて…。

でも今は博物館がワタシの居場所。
道具のレキシをつたえる
おシゴトをしています。
ワタシの声はともちっちゃいけれど、
ゆっくり耳をかたむけてくれるあなたを、
博物館でまっています。

企画展

暮らしの中の民具

ちえとくふう 市内小中学生は観覧無料

平成27年1月10日(土)～3月8日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）

休 館 日：1月13日(水)・19日(月)・26日(月)・
2月2日(月)・9日(月)・12日(水)・16日(月)・23日(月)・3月2日(月)

①もろつき大倉 1月16日(日) 午後14:00分～17:00分

②民具体験でファッションショー 1月20日(木)午後14:00分～17:00分

③むかしのあやつせんばやき 2月11日(土)～(日) 午後14:00分～17:00分

④古文書 2月11日(土)～(日) 午後14:00分～17:00分

⑤常設展有観 2月14日(月)～(火) 午後14:00分～17:00分

⑥せしやう 2月18日(木) 午後14:00分～17:00分

⑦はたおり・あつむき体験 毎週土・日曜日 午前10時～14:00分 午後14:00分～17:00分

⑧ふえ二重つくり 開館日(土・日) 14:00分～17:00分

はくふつかんであそぼう！

一宮市博物館

〒491-0922 一宮市大和町新井南2-29-2番地
TEL 0586-46-2715 FAX 0586-46-3216
URL <http://www.city.ikoma.lg.jp/museum/>

交通：名鉄名古屋線大和駅下車徒歩12分（徒歩約17分）
バス：名鉄バス大和駅前バス停下車徒歩12分（徒歩約17分）



出品目録

No.	資料名	No.	資料名	No.	資料名
1	がんどう（金属製）	31	ぞうりつくりだい	61	とかき
2	がんどう（木製桶型）	32	下駄	62	かます
3	提灯	33	高下駄	63	たる
4	石油ランプ	34	くけだい	64	せいろ
5	炬燵	35	運搬車	65	しるおけ
6	猫火鉢	36	しんどかご（4点）	66	しるびしゃく
7	湯たんぽ	37	大八車	67	すしばこ
8	大火鉢	39	鳥籠	68	まめいり
9	凧	39	手桶	69	いかき
10	羽子板	40	水漉嚢（はんどがめ）	70	こねばち
11	ぐいち（お手玉）	41	柄杓	71	すりばち
12	手毬	42	井戸	72	せんば
13	かるた	43	棹釣瓶	73	酒徳利
14	しょうや（めんこ）	44	はんぞ	74	かつおぶしけずり
15	百人一首	45	洗濯板	75	くど
16	風呂桶	46	盥	76	たきもん
17	風呂籠	47	張板	77	釜
18	横槌	48	伸子張り	78	茶釜
19	蠅叩き	49	張手	79	鍋
20	箒	50	ちゃぶだい	80	七輪
21	箱膳	51	電気釜	81	荒神箒
22	茶碗	52	保温ジャー	82	火消壺
23	石臼	53	いずみ	83	こしがめ
24	臼台	54	おひつ	84	はんぞ
25	長着	55	しゃもじ	85	ながし
26	二重回し	56	めしかご	86	たわし
27	国民服	57	ちょうだい	87	まないた
28	簡単服	58	しょうじき	88	はいとこぬか
29	陣羽織	59	こめびつ	89	氷冷蔵庫
30	わらぞうり	60	いっとます	90	柳行李

すべて一宮市博物館蔵

企画展 一宮美術作家協会展

会期 平成 27 年 3 月 14 日（土）～ 3 月 22 日（日）
 主催 一宮市博物館・一宮美術作家協会
 会場 特別展示室、講座室、小展示室、ラウンジ、1 階ギャラリー
 印刷物 案内はがき（220×110mm） 3,500 枚
 観覧料 常設観覧料
 開催日数 8 日間
 入館者数 1,432 人（179 人／1 日）

一宮美術作家協会会員による、最新の発想でイメージの試作を展開した作品展。美術作家の清新な制作活動の発表の場として、当地の新たな美術文化の進展に資することを目的にするもので、平成 14 年度からの継続事業である。平成 26 年度は、66 名の会員が出展し、うち 2 名による特別展示を行った。

出品者・出品作品

部門名、出品者名、作品名（部門別、50 音順）

日本画	加島 昌子	紹興古鎮	河村 明美	汐風
	高橋 弘子	懸空寺	丹羽 桃慶	V i e t n a m の街
	松岡 彩子	炭売り		
洋画	伊藤 眞巳	郷の娘	井上 雅夫	r o o m
	岩田 哲夫	白炎	江村 亨	回転木馬で遊ぶ
	大島 辰子	春 行き交う	大島 信人	t r a n s p a r l e n c y
	大塚 将司	無題	岡崎 喜代子	時の止まった発電所
	小倉 照江	黒のシンフォニー	小倉 義夫	知識は眠る
	梶浦 寿布	壊の跡	鬼頭 厚生	ハトシェプストの神殿
	久保田 正信	春よ、来い	小出 きよ子	楽園 B
	後藤 一三	時 IV	後藤 泰洋	冬眠から
	櫻井 幹郎	作品 あるいは マンダラ	左合 英明	シルエット
	佐藤 典子	まんだら、2015、春	すぎもと 和	さかなとその仲間たち
	関野 敦	お出かけですか？	高森 和子	内なる記憶
	高山 悟	演奏	滝野 弘次	浄感
	田島 幸子	作品ハート	寺西 洋二	白川郷残雪
	野原 三義	夕暮れのひととき	橋本 進	安曇野秋色
	平林 幸子	ing woman B 子	平松 幸雄	鉄橋の下の方
	堀尾 一郎	ミコノスの春	前野 恒	百々樋門
	増田 和臣	また 遠ざかる	松本 耀子	ファラオの想い
	三輪 修	道	三輪 清弘	花と実
	村上 佳久子	すべて委ねて	山崎 澄	波濤
	山田 光代	あいたくて	吉川 忠史	復興 B
	吉田 まさ子	graffiti blue	若月 陽子	in the yard
彫刻・立体	川原 孝文	宙	長谷川厚一郎	らの展開
	真下 賢一	インナー・ヴィジョン		
デザイン・工芸	石井 佳代子	感性の壊れ切った太陽	石田 元子	春のけはい
	鵜飼 辰郎	S P A C E	鵜飼 のはら	3 1 1
	岡崎 美穂	Creative of Life	澤田 進治	刻・紋
	土屋 保徳	椅子 0 2	百々 佳美	イライラ解消！ Business Solution Fair
	林 節子	どこへ行く？	夫馬 信行	R O C K S （伊賀花生）
	松岡 孝司	跳動Ⅲ	森 昭夫	SPACE AND SPACE

特別展示

小笠原 千鶴〔洋画〕

5 W 1 H－I

5 W 1 H－II

Who are you？－I

Where are you going？－I

Where are you going？－II

Where are you going？－III

Where are you going？－IV

Where are you going？－V

木村 満幸〔洋画〕

蝕

震災のポストマン

冬の星座

黄色の風景

竹の秋

義仲寺にて

サーカスの夜

銭湯

うどんを食べる老人

企画展 一宮写真協会選抜写真展

会期 平成 27 年 3 月 25 日（水）～ 3 月 31 日（火）

主催 一宮市博物館・一宮写真協会

会場 特別展示室、講座室、ラウンジ

印刷物 案内はがき（150 × 100mm） 3,000 枚

観覧料 常設観覧料

開催日数 6 日間

入館者数 1,122 人（187 人／1 日）

一宮写真協会会員のうち 32 名による、感性に裏打ちされた表現力で熱い思いを込めた写真展。平成 14 年度からの継続事業であり、平成 26 年度のテーマは「明日のため 今を 伝えたい。」であった。

出品者

青木 尚子

今井 要

尾関 君代

木村 龍雄

千田 隆末

長谷川 蔦江

水谷 嘉男

安藤 浩仁

上津 福三

笠野 俊彦

桑原 なほみ

所 由紀子

林 三平

脇田 和彦

安藤 雅彦

大矢 真理子

加藤 紀子

小島 高子

中村 薫

林 孝弘

市川 勝朗

岡田 忠夫

金森 光紀

櫻井 悦子

橋本 秀子

林 都美子

伊藤 繁雄

小川 照秋

木村 晴子

櫻井 慶子

長谷川 隆光

夫馬 勲

（50 音順）

(2) 玉堂記念展示室 一宮市立玉堂記念木曽川図書館 3 階

平成 25 年度

川合玉堂生誕 140 周年記念特別展 ふるさとの風景

会期 平成 25 年 10 月 11 日（金）～ 11 月 13 日（水）
 主催 一宮市・一宮市教育委員会
 会場 玉堂記念展示室、一般展示室
 印刷物 ポスター (B2) 700 枚
 リーフレット (A4) 15,000 枚
 観覧料 無料
 開催日数 29 日間
 入館者数 2,579 人（88.9 人／人）

川合玉堂生誕から 140 年の節目を迎えるにあたり、玉堂の代名詞ともいえる風景画に焦点を当て、その魅力を伝えるために、大松美術館と駿府美術館の協力のもと、玉堂の風景画 14 点に加え、玉堂の師である橋本雅邦の「林間残照図」（駿府博物館蔵）を展示し、玉堂の画風に与えた影響を紹介した。



出品目録

No.	作家名	作品名	時代	所蔵
1	川合玉堂	奔泉紅葉	昭和 13 年頃（1938）	駿府博物館
2	川合玉堂	溪村春信	昭和 19 年（1944）	駿府博物館
3	川合玉堂	空山帰樵	昭和 24 年頃（1949）	駿府博物館
4	川合玉堂	溪村浅春	昭和 28 年（1953）	駿府博物館
5	川合玉堂	湖畔驟雨	大正 15 年（1926）	大松美術館
6	川合玉堂	高嶺之春	昭和 11 年（1936）	大松美術館
7	川合玉堂	溪村春色	昭和 20 年（1945）	大松美術館
8	川合玉堂	春峡	昭和 23 年（1948）	大松美術館
9	川合玉堂	山村雪霽	昭和 26 年（1951）	大松美術館
10	川合玉堂	柳下野馬図	明治 23 年（1948）	一宮市立玉堂記念木曽川図書館
11	川合玉堂	奔瀑遊猿図	明治 30 年（1897）	一宮市立玉堂記念木曽川図書館
12	川合玉堂	五月雨	昭和 24 年頃（1949）	一宮市立玉堂記念木曽川図書館
13	川合玉堂	高嶺残雪	昭和 24 年（1949）	一宮市立玉堂記念木曽川図書館
14	川合玉堂	写生帖	昭和 30 年（1955）頃	一宮市立玉堂記念木曽川図書館
15	橋本雅邦	林間残照図	明治 36 年（1903）	駿府博物館

平成 26 年度

特別展 北原白秋と「雀のお宿」

同時開催 川合玉堂展
会期 平成 26 年 10 月 15 日（木）～ 11 月 12 日（水）
主催 一宮市・一宮市教育委員会
会場 玉堂記念展示室、一般展示室
印刷物 リーフレット（A4） 3,000 枚
観覧料 無料
開催日数 29 日間

現在の北方町宝江・木曽川町里小牧の木曽川畔にあった病児教育施設「雀のお宿」は、大正 10 年、大和町宮地花池出身の野田素峰（1892-1947）によって創設された。まだ、特別支援教育が一般的ではなかった時代、その革新的な試みを支援したのは、北原白秋や野口雨情といった文化人たちであった。本展では、野田素峰の遺族や里小牧の雀のお宿研究会の協力の元、「雀のお宿」関連資料や写真パネルなどでその概要を紹介した。また、同時に、俳句や和歌に親しんだ川合玉堂の所蔵品展も開催した。

出品目録

一般展示室

No.	資料名	数量	時代	所蔵
1	北原白秋自筆原稿「童ヶ丘の事業に就いて」	5 枚	昭和 9 年（1934）	個人蔵
2	良寛像 野田素峰旧蔵	1 体		個人蔵
3	良寛さまお供米袋	2 枚		個人蔵
4	「雀のお宿」印章 箱入り	17 点		個人蔵
5	「雀のお宿」支援者芳名録	5 冊		個人蔵
6	「円相」 松岡寛慶筆	1 幅		一宮市博物館
7	「三界唯一心」 松岡寛慶筆	1 幅		一宮市博物館
8	『一宮名勝図絵』『木曽川風景』名取春仙画	1 点		一宮市博物館
9	《雪に雀》 名取春仙筆	1 幅		個人蔵
10	色紙 柳原白蓮筆	1 枚		個人蔵
11	色紙 阪本牙城筆	4 枚		個人蔵
12	「雀のお宿」パンフレット（写真パネル）	1 枚	昭和 3 年（1888）	個人蔵
13	「雀のお宿」パンフレット（写真パネル）	1 枚	昭和 15 年（1939）	個人蔵
14	「雀のお宿」写真パネル	15 枚		

玉堂記念展示室

1 白礪（習作）	昭和 5 年（1930）	2 鶺鴒	昭和 29 年（1954）
3 長閑	昭和 15 年（1940）頃	4 草紅葉	昭和 26 年（1951）
5 背戸の秋	昭和 30 年（1955）	6 炉端 吉右衛門合作	昭和 24 年（1949）頃
7 ふきのと（画賛）	大正頃	8 泉（画賛）	昭和 30 年（1955）頃
9 早春（画賛）	昭和 24 年（1949）頃		

作品名、時代（すべて川合玉堂作、一宮市立玉堂記念木曽川図書館蔵）

